

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	西木公民館活動推進事業費							
担当課係名	西木公民館	課	係	作成者	浅利一美			
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画のページ 95			
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備						
	主要施策	社会教育活動の充実、家庭教育の充実						
予算費目	一般	会計	10款	教育費	5項	社会教育費	2目	公民館費
事業期間	平成	年度	～	平成	年度	新規/継続の区分		
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理							
根拠法令等	教育基本法、社会教育法							
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務							
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	一般市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	住民が生きがいのある充実した生活が送れるよう積極的に学習の機会と場を提供していく。また、同時にコミュニティの形成に努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	生涯学習講座の実施、新しい分野の講座の開発、自主学習グループへの支援、親子活動を通じた家庭教育の機会の充実

【事務事業の推移】

(単位:千円)

効果	項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
	活動指標	実施講座数	講座	36	36	
成果指標	延べ受講者数/延べ実施講座数	人/回	16	13		
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			2,001	1,738	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他		307	101	
		一般財源		1,694	1,637	
	人件費(B)			15,706	10,734	
	職員数			2.0	1.3	
	職員平均人件費			7,853	8,071	
(A)+(B)投下コスト			17,707	12,472		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			491,861	346,444	
	市民1人当たりのコスト(円)			555	397	

【事務事業の今までの成果】

地域のニーズの把握に努め、他機関・課・団体などと連携をとって事業を進めてきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	公民館をコミュニティセンター化し、各種団体や地域の自治組織で事業を行っている自治体が出てきている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	要望・・・新しい講座の開拓、発表の機会を増やしてほしいなど

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
B	A 現状のまま継続(実施)	地区館のあり方を含め、3公民館の組織や事業の統合を考えなければならなくなっていると思われるため。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

西木公民館での今後の取組としては、事業内容や開催の曜日・時間帯の見直しなどをおこない、今の体制で年度計画を達成できるようにしていくこと。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B	学習機会の場の提供は引き続き必要と考えるが、今後は生涯学習の自主学習グループの育成に重点を置く必要があると考える。

